

外国人に日本語を教えるボランティア団体

Tachikawa International Friendship Association

新たな一歩 新年のご挨拶

立川国際友好協会 会長 木下 究

新年明けましておめでとうございます。

この2年間、コロナ禍で重苦しい日々が続いてきましたが、今年こそ明るく、よい年であってほしいと願っています。

さて、本年6月立川国際友好協会（TIFA）は設立30周年を迎えます。

設立当時を振り返ってみますと、1990年に出入国管理法が改正され、在留資格が再編されて（「定住者」の創設など）、ブラジル、ペルーなどから日系人の入国が容易になりました。立川市でも、法改正前の1989年には1,442人だった外国籍市民が、TIFA設立の1992年には2,129人と、わずか3年で約1.5倍にふえています。ブラジル国籍の方も、1989年の9人から1992年には154人と急増しています。

それから30年、2021年の外国籍市民は4,650人と倍増し、立川市の総人口に占める割合も2.58%と、1992年の1.38%から1ポイント以上増加しています。

しかし、この間の変化は人数の増加だけではありません。出身国が多様化しています。1992年には、立川市の在留外国人のうち、韓国・朝鮮、中国、フィリピン、米国籍の方が84.7%を占めていましたが、2021年には72.0%まで低下しています。ベトナム、インドネシアなど他のアジア諸国出身の方もふえ、多国籍化しているのです。限られた国の言語や文化を知るだけでなく、さまざまな国や文化を知る努力が求められています。

さらに、未来を見ずえるうえで大切なことは、外国



ルーツの方々なくして、少子・高齢化の日本社会は存立・機能しえない状況に至っているということです。

人口に占める外国人技能実習生の割合が高い市町村は北海道に集中していますが、そこで実習生はホタテ、サケ、タコなどを加工する水産業や畜産業に従事しています。また、茨城、千葉、長野、熊本などの各県では、野菜栽培などの農業に従事しています。高齢化や過疎化などで構造的な人材不足に悩む地方の第1次産業では、実習生たちがその穴を埋め、日本の食のシステムを支えている構図が浮かび上がってきます。東京都内では、若い人が少ない中小企業などで実習生を受け入れている例が多いと推測され、江戸川区、足立区、大田区など中小企業の集積している自治体に多くの実習生が集まっています。そして、多くの外国ルーツの若者たちが、コンビニや飲食店で働き、われわれの日常生活を下支えしています。

このような現状を踏まえると、一方で国レベルでの在留制度の抜本的な改善を展望しながら、他方で地道な活動を展開し、多文化共生の地域社会を築いていく大切さを痛感します。

TIFAの活動は外国人への日本語教育というささやかなものではありません。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大するなかでも、教室を訪れる新規学習者が絶えることがなかったのは、彼ら・彼女らが日本で生きてゆくために日本語学習が不可欠であることを示すとともに、TIFAの活動の意義、大切さを示しています。外国籍市民の日本語学習に伴走しながら、先人たちの蓄積されてきた成果を引き継ぎ、30周年を期に新たな一歩を踏み出すことができたらと願っております。

みなさま方の変わらぬご厚誼と、ご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

リレーコラム 交差点

木曜教室 小木曾 夏樹

時間の長さ

新型コロナ感染拡大は高齢者の日常を激変させた。TIFA等の社会活動や仲間とのゴルフ・飲み会などの楽しみは奪われ、我が高齢者マンションでは家族との面会までが禁止となった。

一日は限りなく長く、毎日の同じような時間の連続は「時の経過」を異様に短く感じさせ、「変化こそ時間の経過を脳に刻み込む重要パルス」であることを思い知らされる。

或る脳学者によると「人間の時間の感じ方はそれぞれで生きて来た時間との比」即ち、10歳の1年は人生の1/10だが80歳の1年は人生の1/80、つまり時間の長さの感じ方は10歳と80歳とでは8倍程の差があるという事だ。この「年齢によって感じる1年間」を1歳=1/1年・2歳=1/2年・3歳=1/3年・・・と積み重ね、時間を認識できる4歳から80歳まで積み重ねた時、人生の中間点は何歳なのか？答は18歳との事。人生の折り返しが18歳とは意外な感じがするが、「18歳迄の夢と希望に満ちて学びに集中した密度」とそれ以降の「恋・仕事・家庭・老い・・・等の生き様の密度」を振り返ると、意外に18歳が人生の折り返し点というのは頷けるような気がする。

若かりし頃の折り返し点で夢見た人生と、今になって振り返るその後の長かった人生の軌跡、その「物理的な過ぎさった時間」と「脳で感じる時間の長さ」のギャップの不思議。為すべきことに乏しく徒に怠惰な毎日を送る私は、時間軸の持つ不思議な感覚を今楽しんでいる。

木曜教室 桐ヶ谷 征子

渋沢栄一 論語と算盤

私の担当するAとBのグループは、「NHK テキスト 100分 de 名著 渋沢栄一『論語と算盤』」を教材にしています。

2024年に1万円札の図柄に渋沢栄一の肖像が用いられるとのことで、興味を持ってもらえるのではないかと考えました。NHKが渋沢を主人公として大河ドラマを開始しましたので、分かりやすいと思いました。江戸から明治という激動期に、日本にはなかった様々な制度を作り、日本の近代化に尽くした渋沢栄一を通して、日本と日本人を知ってほしいと考えたのです。

「本当に人を評価しようと思うならば、その富や地位、名誉のもととなった『成功か失敗か』という結果を二の次にし、よくその人が社会のために尽くそうとした精神と効果とによって、行われるべきものなのだ」



～渋沢栄一～

この言葉を通し、作家でこの教材の著者、守屋淳氏は「たとえ世界から戦争がなくなっても、世界平和を志した人が、平和に一步でも近づく何かしらの貢献ができたなら、その人生は本当に素晴らしいものなのです。成功か失敗か、という物差しは、高い志に対してはおまけでしかありません。」と解説しています。

農民から武士、明治政府の官僚、そして実業家になり、自分ではどうすることも出来ない激動する社会の中で、志を貫いた人生を学ぶことができたととてもよかったと思っています。

土曜教室 内野 貴之

自転車旅行の魅力

ご存じの方も多いかと思いますが、私は毎年夏に自転車旅行をしています。昨年は京都まで走ってきました。今回はそんな自転車旅行の魅力をお伝えしたいと思います。

一口に自転車旅行と言っても人によって様々なスタイルがあります。今回、浜松で「毎日300キロ走って九州を目指している」という二人組みに出会いました。彼らはひたすらストイックにどこまで走れるかを追求するスタイルです。中には京都まで一日で走破してしまう猛者もいますが、私は「目的地までの道中を存分に楽しむ」ことを第一にのんびりと旅をしています。

そして、のんびり走っている道中で気軽に目についた場所に立ち寄れること、町の空気を肌で感じられること、小回りがきくこと、こういった点は自転車旅行の利点であり魅力だと思います。

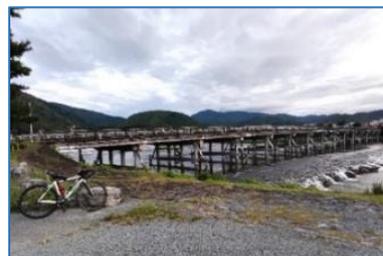
今回は東海道の旧道を中心に走りました。車では走れない昔の道を、歴史を感じながら散策しました。京都までは何度も走っているのですが、その道中には走るたびに新しい発見があります。今後も体が動く限り、自転車で旅をしたいと思っています。



箱根峠を越えて芦ノ湖



東海道五十三次 薩埵峠



3日かけて着いた京都・渡月橋



土曜教室 葛 敦

自己紹介と私の教室活動

まず私の自己紹介です。

TIFA参加の動機

少しでも外国語に触れたい、又外国文化に触れたい気持ちから入会しました。2016年からお世話になり、もう5年になります。



私の趣味

混声合唱団でコーラスの活動、音楽鑑賞、旅行、中国語の勉強会（ミニ小説等）

海外旅行の経験

チベット（ポタラ宮とその周辺）、シルクロード（鉄道バスの旅・莫高窟）、北京・西安の遺跡

次に教室活動の一部を紹介します。

私の授業法

まずは「挨拶から始めよう」と呼びかけます。テキストを中心にしますが、日本の童謡をプリントして一緒にアカペラで歌いながら、楽しく勉強します。

印象に残る私の受講生

- *介護施設で働きながら日本語教室に通うベトナムなどの受講生には、強い気力・体力・経済力が求められます。一生懸命努力しているみんなを応援したいと思っています。
- *中国から出張で来ていた会社員はいつも積極的で、日本語スピーチコンテストに出るために、原稿をしっかりと準備して立派に発表していました。
- *その他メキシコ、スリランカ、カンボジア、インド、ケニアなどの受講生を担当してきました。これからも楽しく学べる工夫をしていきたいと思っています。

川柳 作ってみました

土曜教室 佐藤 尚美

帰国間近の于さん、劉さんに川柳を作ってもらいました。新聞の川柳を例に、簡単な説明の後、さっそく創作開始！

- ①「ありがとう」最初に覚えた 日本語です
- ②「お疲れ様」私の好きな 日本語です
- ③ 涙出る よく食べたのは わさびです
- ④ おいしさを 思い出すのは おさしみだ
- ⑤ 宝くじ よく当たるのは 夢の中
- ⑥ 週末に いっしょしたのは 掃除です
- ⑦ 北海道 きれいな雪が 見たかった
(外出自粛で出かけられず残念でしたね)
- ⑧ どうしよう 難しいのは 川柳だ (笑)

こんな嬉しい句も！

⑨日本語は 習ってはじめて 興味出る

⑩懐かしい 佐藤先生と 学んだ日

お二人は、初めて担当した受講生でしたし、途中からは初オンライン授業も始まり、毎回ドキドキしながらの授業でしたが、とてもいい思い出です。

お二人に助けられ、楽しく授業を進められました。

暇らんだ 夢と笑顔と ^{オンライン}遠隔授業 (尚)

受講修了にあたって

土曜教室受講生 荒谷 静雪

日本に来たのは小学6年生の頃でした。当時の私は知らない人と交流するのを大変恐れていました。変な発音で他の人を困惑させたのじゃないか、いまいちの仕草で周りに迷惑を掛けているんじゃないのか、と毎日をドキドキの中で過ごしました。

そんな私を救ってくれたのは、ここ「日本語教室」でした。小学校の先生から勧められ、教室に参加しました。教室の環境がよく、受付の先生方も親切に接してくれて、私の不安が和らぎました。

最初に授業を受けた頃、私の水準は「ひらがな」「カタカナ」を書くくらいで、文法や文章の読み方などよくわかりませんでした。「辞書形」「た形」「謙譲語」「尊敬語」など様々な練習プリントがあり、先生も熱心に解説してくれるし、わからないところも先生に質問すればきちんと理解できます。このように私は先生の熱心な指導や共に日本語を勉強してくれた菅さんの解説のおかげで、みるみるうちに日本語が上手になり、小学校の授業中に発言するようになりました。

「日本語教室」のおかげで、私は周りに対して積極的に取り組むようになり、クラス集団に入るようになりました。日本語が分かったことで、私は自分らしさを見つけるようになったのです。

TIFA 研修会

外国ルーツの子どもたちの日本語学習

立川市民交流大学にTIFAが企画・提案した市民講座が、10月9日、16日、23日の3回にわたり、女性総合センター・アイムにおいて開催されました。



YSCグローバル・スクール統括コーディネーター、ピッチフォード理絵さんを講師にお招きし、42名の方々が参加しました（市民参加者17名、TIFA参加者25名〔内5名はオンライン参加〕）。

研修の中では活発な質疑応答があり、続編希望の声も数多く出て盛会のうちに終了しました。

第一回 「外国ルーツの子どもたちを取り巻く課題」

家庭環境、教育背景、経済状況、言葉の壁、進学
の壁、心の壁等について支援のノウハウを学習しました。

第二回 「日本語指導の基礎知識」

子どもの習得過程には単語期、連結期、伸長期、定
着期の四段階があることを学びました。「熱い水」「寒
いコーヒー」「料理した米」「カレーと米を食べます」
などユーモラスな現場でのやり取りも紹介されました。

第三回 「ワークショップ」

4～5名のグループに分かれて、教科書を「やさし
い日本語」に変換する演習を行いました。（広報部）

2021 イヤーエンド イベント

2021年最後のイベント
となる「イヤーエンド げ
んき・かい」が、12月
18日（土）、柴崎学習館ホ
ールに於いて開催されまし
た。コロナ禍が小康を保っ
ている中、昨年に続き感染防止対策を取り、規模を縮
小しての第二回目の「げんき・かい」となりました。

画像を活用したプログラムとし、会場参加者とオン
ライン参加者が一体感を持てるような、楽しい企画が
組まれました。参加者数は総数 41 名、その内会場が
37 名（うち受講生 12 名）、オンラインが 4 名（うち
受講生 2 名）でした。

〔プログラム内容〕

①木下会長挨拶

「限られた時間ですが、みんなで挨拶を交わし、気
軽に楽しんで交流しましょう」とのお話がありました。

②スピーチタイム（受講生 7 名、ボランティア 1 名）

スクリーン上の自身の写真について語りました。旅
行、家族、故郷などバラエティに富んだ内容でした。

③ギター演奏と合唱

曲目：「今日の日はさようなら」「津軽平野」

④スライドショー

イヤーエンドパーティーのあゆみ 2013～2021 年
2021 年度の TIFA の活動

⑤柴崎教室・西砂教室の三学期の予定について報告



なお、「げんき・かい」の様子は、TIFA ホームペ
ージに写真・スライドショーなど豊富に掲載されていま
すので、是非ご覧ください。（広報部）

笑顔いっぱい えんがわサロン

コロナが収まりつつある中、11月26日柴崎会館
にて「えんがわサロン」が開催されました。参加者は
13名で、その内外国出身者は児童2名を含む8名
（中国7名、台湾1名）、OGが2名、ボランティア
が3名でした。お正月も近いことから「着物の着付け」
をOGの長屋さんや宮内さん、ボランティアの山田さ
んの指導で楽しみました。初めて参加したランゲツさ
ん（土曜教室）は大振袖を試着し「嬉しかった。参加
してよかった！」と感想を話してくれました。お子
さん連れで参加した矯さんや仕事のあとに駆けつけてく
れた坂田さん、10年振りにお顔を見せてくれた陳さ
んや初参加の横山さんなど、中国語での会話が飛び交
い充実したひと時を共有できました。

今回、市役所・TIFAのHPやOG徳永さんのFBに
アップして頂き様々な応援を頂きました。（赤嶺令子）



広報部お知らせ

TIFA 会報の対外広報について

現在会報はボランティア会員、受講生への配布以外
に、以下のように対外的な配布、閲覧活動を行って
います。（約202部）

1、市役所関係

- ・市長、多文化共生係等 14 部署及び市役所玄関
にある広報棚

2、市議会 議員

3、市民向け

- ・柴崎学習館等、市内 6 学習館
- ・中央図書館等、市内 9 図書館

4、外部団体

- ・立川市社会福祉協議会
たちかわ多文化共生センター等約 18 団体

ホームページ QRコード

立川国際友好協会



西砂教室

